

普及だより

きみつ

〒292-0833 木更津市貝渕3-13-34 TEL. 0438(23)0299
http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-kimitsu/ FAX. 0438(23)6698

発行
千葉県君津農業事務所

編集
千葉県君津農業事務所
改良普及課



ほ場実演の様子



研修会の様子



耕うん作業の様子



自動操舵システムを搭載した
トラクターの様子

自動操舵システムの実演会を
開催しました！
作業効率の向上と負担軽減に向けて

農業機械の作業効率向上や運転者の負担軽減を目的に、自動操舵システムの導入が始まっています。この技術は複数の衛星や基地局からの電波を受信し、地形に合わせた最適な経路を算出することで、トラクターをはじめとした農業機械の自動操縦を行うものです。システム標準搭載機種のほか、専用の受信機やモニター、ハンドル等を後付けすることも利用ができます。農業経験が浅い人でも正確で安全な作業が可能となるため、君津地区でも導入を検討する声が聞かれます。

こうした背景により、農業事務所では10月12日に袖ヶ浦市内にて、自動操舵システムの研修会・実演会を開催しました。

当日は、システム導入にかかるコストの説明や管内生産者の導入事例紹介の後、自動操舵システムを搭載したトラクターを用いて、耕うんや畝立て作業の実演を行いました。また、希望者はトラクターに試乗し、自動操舵の精度や操作性を確認しました。他産地の事例や維持費に関する質問も挙がり、活発な情報交換の場となりました。

農業事務所では、今後も新たな技術を紹介し、経営改善につながる技術導入を支援していきます。

(元吉)

特定外来生物

「ナガエツルノゲイトウ」に注意!

〜蔓延防止のために〜

「ナガエツルノゲイトウの生態」

ナガエツルノゲイトウは南米原産のヒユ科多年生雑草です。水生植物ですが陸でも生育可能で、平成元年に兵庫県で定着が確認されて以降、全国に拡大し、平成17年には特定外来生物に指定されました。君津地域においては、以前より小糸川下流において群落形成が確認されていましたが、今年度、水田でも定着していることが確認されました。

ナガエツルノゲイトウは霜にあたりると地上部が枯れますが、生育中はいつでも開花します。しかし、日本で定着した系統は種子ができないため種子繁殖はしません。根や茎のわずかな断片から再生可能ですが、越冬は主に根茎で行い、関東地方では3月中旬から4月頃に発生します。特に日当たりの良い水辺では大群落を形成し、茎が中空でポキポキと折れやすく水に浮くため、茎の断片が水系で移動して蔓延します。また、群落が離岸して流下し、大量に漂着

して排水機場が詰まるといった問題も起こします。さらに、水系で移動したナガエツルノゲイトウの断片は水路やパイプラインを通って水田に侵入し、ほ場内や畦畔で繁茂し、コンバイン収穫に支障をきたします。とても繁殖力が強く、防除が難しい雑草です。



ナガエツルノゲイトウ

「ナガエツルノゲイトウの防除」

(1) 本田の防除

水稻の生育期間は、初中期一発剤では既発生のナガエツルノゲイトウを枯死させることができず、防除が困難なため、必ず体系処理を行う必要があります。初期又は初中期一発

剤にはピラクロニルを含むもの（ピラクロンフロアブルやバッチリLX1キロ粒剤など）を散布するとナガエツルノゲイトウの発生及び生育が一時的に停滞します。その後、ナガエツルノゲイトウに効果の高いフロロピラウキシフェンベンジルを含む中後期剤（ロイヤント乳剤やウィードコア1キロ粒剤）を散布することで、水稻の収穫や収量に影響が出ない程度にナガエツルノゲイトウの発生及び生育を抑えることができます。

(2) 畦畔の防除

ナガエツルノゲイトウは畦畔からも侵入します。4月上中旬にラウンドアップマックスロード（畦畔が崩れやすい場合は3月中下旬にカソロン粒剤6.7）を散布し、6月上中旬にロイヤント乳剤、7月中下旬にザクサ液剤を散布します。

(3) 収穫後の防除

イネを収穫した後もほ場内や畦畔でナガエツルノゲイトウは生育しています。気温がまだ暖かく、ナガエツルノゲイトウが生育しているうちにラウンドアップマックスロードを散布して根こそぎ枯らすことで翌年の発生量を抑えることができます。

(宇賀神)

	移植		中干し		出穂	収穫	
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
本田の防除		バッチリLX 移植同時/ 移植直後～移植7日後	ピラクロン 移植同時/ 移植直後	ロイヤント乳剤 中干し期間中 ナガエツルノゲイトウ草丈60cmまで			ラウンドアップ マックスロード
畦畔の防除		カソロン粒剤6.7 (畦畔が崩れやすい場合) ラウンドアップ マックスロード いずれかを使用	ウィードコア1kg粒剤 移植15～30日後 ナガエツルノゲイトウ草丈15cmまで	ロイヤント乳剤	ザクサ液剤		ラウンドアップ マックスロード

本田及び畦畔での防除例



収穫後も生育を続けるナガエツルノゲイトウ

火傷病に伴う ナシの花粉確保に向けた 取組を行いましょー!

国内への侵入を警戒している重要病害である「火傷病」の発生が中国で確認され、これに伴い、今年8月から国は中国からの花粉や苗木の輸入を停止する措置をとっています。

「火傷病」は、①感染した場合、治療できる薬剤がない、②発病から枯死までの時間が短い、③花粉等を介して園内・産地に急速に広がり大きな減産、産地の存亡につながる、④宿主となる植物種が多く根絶が極めて難しい、といった点で、産地に甚大な被害をもたらす可能性が高い細菌病となっています。

このように、「火傷病」からナシを守るためには、輸入花粉に変えて花粉の自家採取が必要となります。

県は緊急対策本部を立ち上げ、ナシ農家に対して花粉を自家採取できるように、効率的な採取方法の共有や必要な機器を購入するための支援策などを進めています。

また、農業事務所では、花粉の自家採取をした経験がない、または長期間に渡り採取に携わらなかった生

産者に向けて、12月14日に、「なし花粉採取のための枝残し方研修会」を開催し「豊水」を用いた枝の残し方について講習会を行いました。

今後、3月中下旬には、効率的な花粉採取の作業行程について実演交えた講習会を開催する予定です。

効率的な花粉の自家採取を行うとともに、採取した花粉を無駄なく有効に利用しましょう。



受粉用なし
花粉採取
マニュアル

(田中)



なし花粉採取のための枝残し方研修会

酪農の スキルアップ研修を 開催しました!

牛の初産は、生後24か月齢が目標とされています。初めて分娩する月齢は、発育の状況が影響するとされており、分娩の遅れは、子牛の飼養管理に係る費用の増加や労働時間の増加に繋がるとともに、生涯の生乳の生産性にも大きく影響すると言われています。

そこで、農業事務所では、令和3年度から、袖ヶ浦市の若手酪農家を対象に、子牛の飼養管理技術の向上を目的として、各農家の子牛の飼養管理方法や発育に関する調査を実施し、その結果を基に勉強会を実施してきました。これまでの調査結果から、推奨される発育値を下回る子牛が多い農家では、飼料が不足している可能性があることが分かりました。本年度は、更なる飼養管理技術の向上と飼養環境の改善を目指し、2回の視察研修会を開催しました。7月には、適切な飼養管理により、良好な発育の子牛を育てている九十九里町の酪農家を視察しました。

適正量の粉乳を効率的に給与する

方法や夏場の暑さ対策の工夫を学び、参加者からは、「粉乳の計測方法等を見直すきっかけになった」といった感想がありました。

また、11月には、子牛の発育段階において、飼料の給与や飼養管理を適切に行うことで成果を上げている袖ヶ浦市の酪農家を視察しました。基本技術を着実に実施している事例を視察した参加者からは「推奨されている飼養管理の方法を忠実にやることの大切さを感じた」との声が聞かれました。このような研修を通して、農業事務所は今後も酪農家の技術改善を支援していきます。

(加藤)



暑さ対策のネッククーラー

新しい指導農業士 認証者紹介

令和5年度は、管内からは新たに指導農業士2名が認証されました。指導農業士は、地域の農業振興や農業後継者の育成に関する役割が期待されます。

今年度、新規に認証された方を紹介します。
☆鳥飼 眞一氏(君津市)



君津市小櫃地区で「鳥飼さんちの卵」ブランドで採卵鶏と水稲の複合経営を営んでおり、JAきみつ小櫃養鶏部会長や末吉土地改良区の理事長を務めています。
採卵鶏については、出荷先の求める品質にあわせて飼料の配合を変え、後継者の意見を取り入れて独自のパックにするなど有利販売を実現して

います。
最近では、育苗ハウスを活用した観光ぶどう栽培に取り組みなど、経営の多角化にも挑戦中です。

☆丸 文浩氏(富津市)



代表取締役を務める株式会社千葉まいすたあで、経営面積40haの水稲専作経営を行うとともに、地元の農家集団である株式会社百姓王では、最高財務責任者として活躍しています。

百姓王では、地域の耕作放棄地を活用して飼料用稲WC Sの生産を行うとともに、農協と連携して収穫作業などの作業受託を行っています。若手農家の兄貴分として活躍が期待されます。

(小川)

農業経営体育成 セミナー生を募集!

農業事務所では、新規就農した概ね45歳までの方々を対象に毎年、農業経営体育成セミナーを開催しています。

当セミナーでは、生産技術や経営に関する知識習得や、先進農家への視察等を行っており、これらを通じてセミナー生は、実践的な経営管理の手法を学んでいます。基本、専門、総合コースの順に3年間で段階的に学び、農業経営者としての資質向上を図っています。



大田市場視察

また、農業を行う上で、地域の同業者に仲間がいること

は重要なことから、セミナーを通じた仲間づくりも行っています。



先輩農家経営訪問

参加費は無料ですが、会場までの交通費、飲食代等は自己負担となります。

募集は、5月上旬まで行っていますので、御興味のある方は農業事務所までお問い合わせください。
(奥寺)



意見交換会

収入保険で 農業経営リスクへの 備えを

自然災害、市場価格の低下、けがや病気で収穫不能、盗難等さまざまなリスクによる収入の減少を補償する「収入保険」に加入しましょう。

加入できる方は、青色申告を行っている農業者の方(加入申請年の1年分のみ実績で加入できます。)です。

加入申し込みは個人の方は10月~12月、法人の方は事業年度開始の前月末までです。

千葉県では収入保険に新規加入する方を対象に期間限定で保険料補助制度を実施しています。

詳しくは、千葉県農業共済組合にお問い合わせください。

○問合せ先
千葉県農業共済組合
ぼうそう支所

Tel. 0438(23)0371

